

単回使用採血ホルダー

BDバキュテナ™ シングルユースホルダー



Helping all people
live healthy lives

BDバキュティナ™ シングルユースホルダー



- ◆ 採血ホルダーに付着した血液を介した交差感染を防ぐ、単回使用専用ホルダーです。
- ◆ BDエクリプス™安全機能付き採血針をはじめ、BDバキュティナ™採血針、翼状針、ルアーアダプターとの接続が可能です。
- ◆ 針をホルダーにセットしたまま廃棄することにより、針を外す際の針刺し損傷を防止できます。

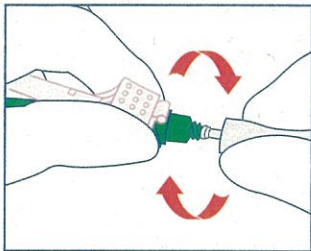
安全にお使いいただくために

- ◆ 1度使用したシングルユースホルダーは再利用しないでください。
- ◆ シングルユースホルダーのネジ山は単回使用を前提に設計されており、再利用時の安全性は確立されておりません。
- ◆ 採血後は採血ホルダーと針をセットしたまま適切な耐貫通性廃棄容器に廃棄してください。

採血ホルダーを使用した時の血液汚染率は50～80%であるとの報告があります。

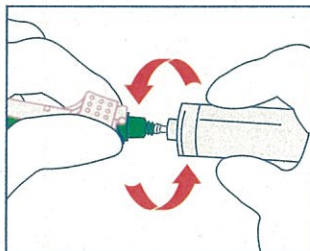
OSHA(米国労働安全局)のコメント

シングルユースホルダーとBDエクリプス™安全機能付き採血針を使った採血手順



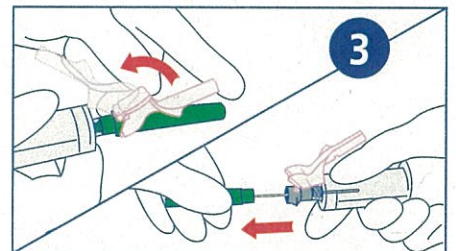
1

安全機能付き採血針のピンク色の安全シールドと緑色の針カバーと一緒にしっかり持ち、白いキャップのみをひねりながら、まっすぐ外します。



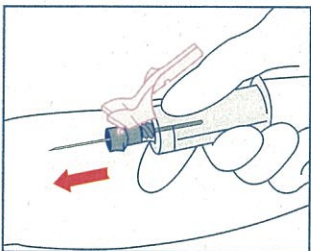
2

採血針をしっかり持ち、後方針をホルダーに差し込み、ホルダーを回しながら、固定されるまでねじ込みます。



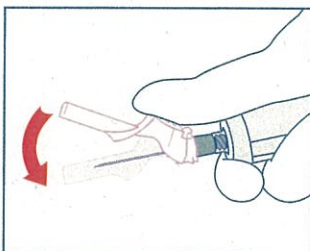
3

片手でホルダーを持ち、反対の手でピンク色の安全シールドをまっすぐホルダー側にそっと引きます。次に、針カバーをまっすぐ引き抜いて外します。



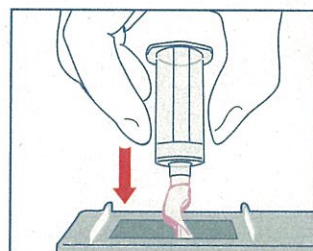
4

施設の手順に従って、静脈穿刺します。



5

採血終了後抜針し、直ちに安全シールドの親指パッドを正面から親指で押し、カチッと音がするまで作動させ、確実にロックされたことを確認します。
〈注意〉安全シールドを机などの硬い面に押し当てて作動させると危険ですので行なわないでください。



6

針はホルダーから外さず、一体のまま耐貫通性廃棄容器に廃棄します。
〈注意〉シングルユースホルダーは、再利用しないでください。

BDバキュティナ™シングルユースホルダー

カタログ番号	出荷単位
364815	1000個/箱

BDバキュティナシステム 医療機器認証番号 15000BZY00702000

BDエクリプス™安全機能付き採血針

カタログ番号	針サイズ	出荷単位
368607	21G 11/4	48本/ケース
368608	22G 11/4	

BD、BDロゴおよびその他の商標はBecton, Dickinson and Companyが保有します。 ©2008 BD



製造販売元
日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1
本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ

www.bd.com/jp/

◆ 製品関連・資料請求
お客様情報センター

◆ 注文・納期・在庫のお問合せ
受注管理

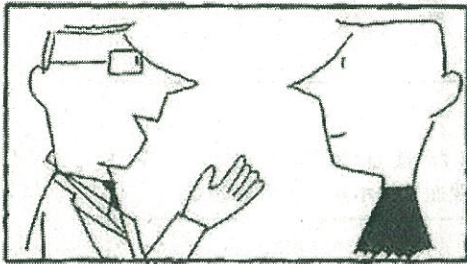
☎ 0120-8555-90

FAX: 024-593-5761

62-015-02
R0-0807-010-031

◆採血手順

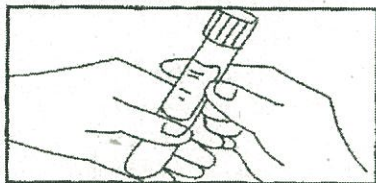
1. 採血の内容・必要性・考える問題点などについて可能な範囲で患者に説明し、少なくとも口頭で同意を得る。採血前に指示書を確認する。



2. 必要器具を準備する。



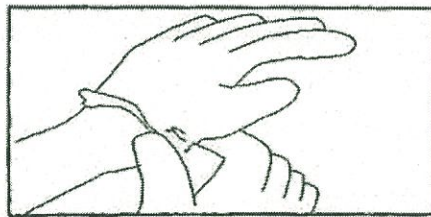
3. 氏名により患者の確認を行う。このとき、採血管に貼られているラベルと患者氏名が一致していることを確認する。



4. 必要事項について患者に尋ね確認する。

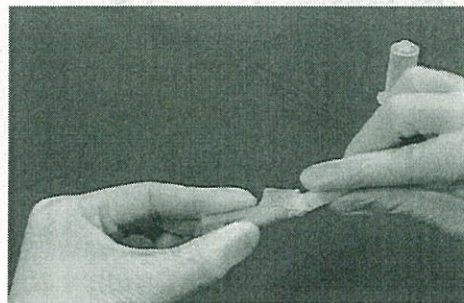
- アレルギーの有無(消毒薬、ラテックスなど)
- 血管迷走神経反応(VVR)の既往
- 採血してほしくない場所
- 食事摂取についての指示が守られている事
⇒守られていない場合:依頼医に連絡し指示を受ける。
- 抗凝固剤の服用や出血性疾患の既往の有無
(採血終了時まで確認する)

5. 手指を消毒して使い捨て手袋を着用する。



6. 患者に採血に適した姿勢をとってもらい、ディスポーザブル防水シートを下に敷く。

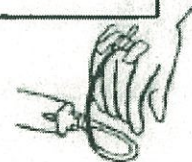
7. 採血用ホルダーに採血針を取り付ける。この時、ピンクの針カバーを図のようにはさみながら、白い後方針キャップを外すし、ホルダーをまわしながら取り付ける。



8. 駆血帯装着前に目視および指で触れて血管を確認する。



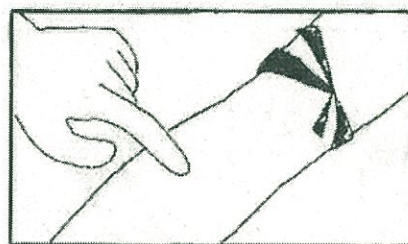
細い血管などの場合は比較的細いゲージで長さの短い針を有する翼状針を使用する。



9. 駆血帯を装着する。

10. 患者に手を軽く握ってもらい。

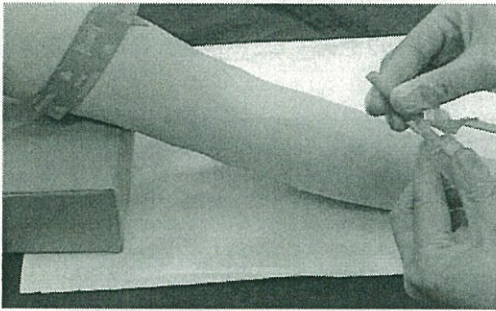
11. 血管を指で触れて再度、採血部位を確認する。



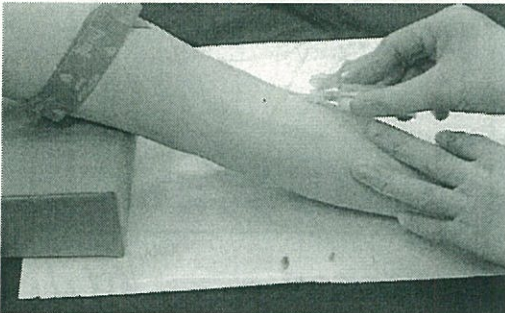
12. 同心円を描くようにして穿刺部位の消毒をし、消毒液が乾燥するまで待つ。
※消毒後は穿刺部位に触れない。



13. ピンクのカバーを手前に引き、針のキャップを外す。



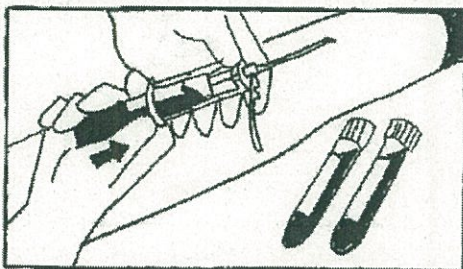
14. 利き手でホルダーを持ち、一方の手で穿刺部位の少し下方の皮膚を少し引っ張り、血管を固定する。針カバーを上にし、刃の切り口が上に向いているのを確認し、15°～30°程度の角度で刺入し、血管を捕らえたら、ホルダーが動かないように固定する。



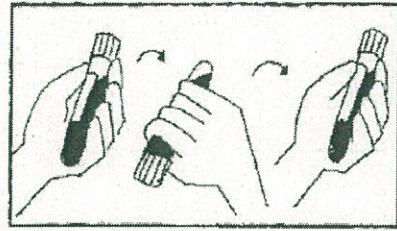
15. 採血管をホルダー内へ押し込み、血液の流入を確認する。
※ホルダーをしっかり固定し、採血管を強く押し込まないよう、注意する。

16. 必要量の血液を採取した後直ちに、採血管をまっすぐホルダーから抜く。

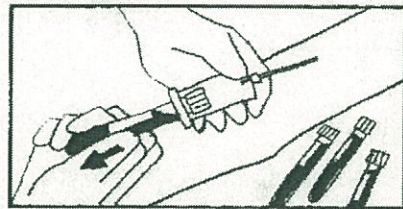
17. 順次採血管に血液を採取する。なお、1本の採血針での採血は原則として採血管6本までとする。



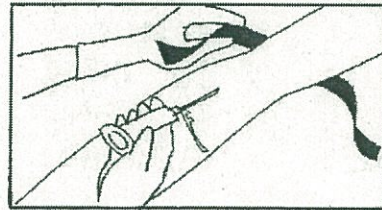
18. 採血の終わった抗凝固剤または凝固促進剤入りの採血管は、緩やかに5回以上転倒混和を行う。



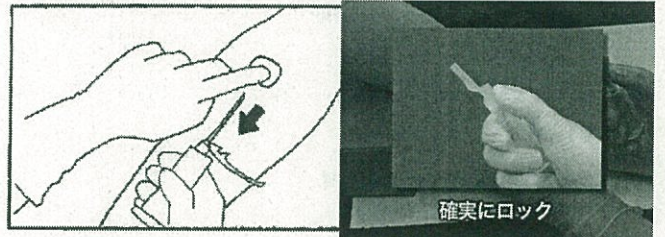
19. 必要な採血管全てに採血を終了した後、最後の採血管をホルダーから抜く。



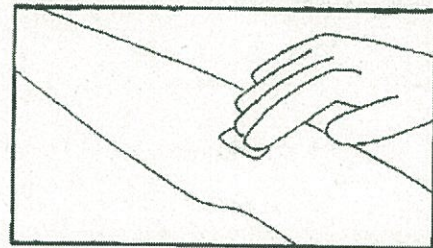
20. 採血管を抜いた状態で駆血帯を解除する。



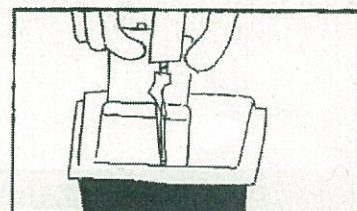
21. 消毒綿または乾綿を穿刺部位に軽くあてた状態で針を抜き、針カバーの根元部分を親指で押し「カチッ」と鳴るまでロックをする。



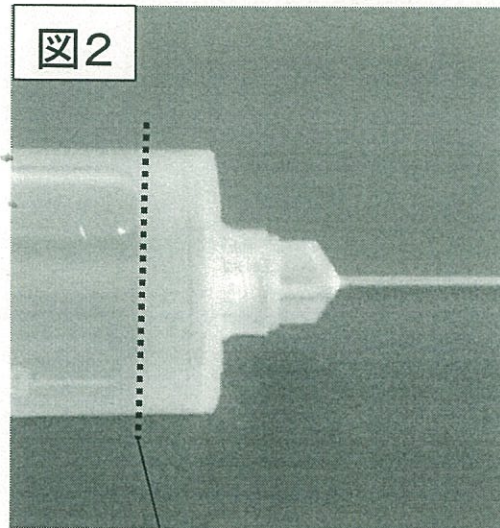
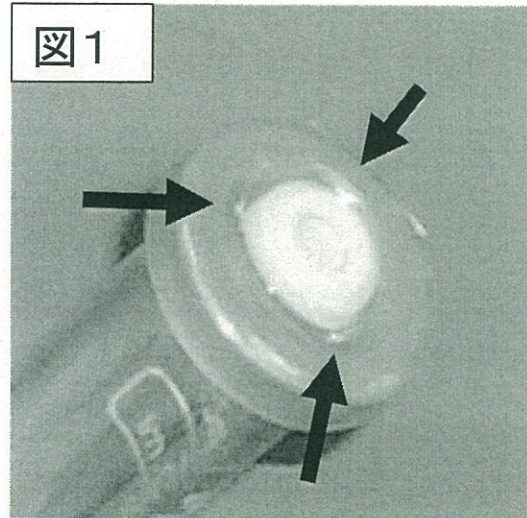
22. 消毒綿などで、約5分間圧迫止血をする。



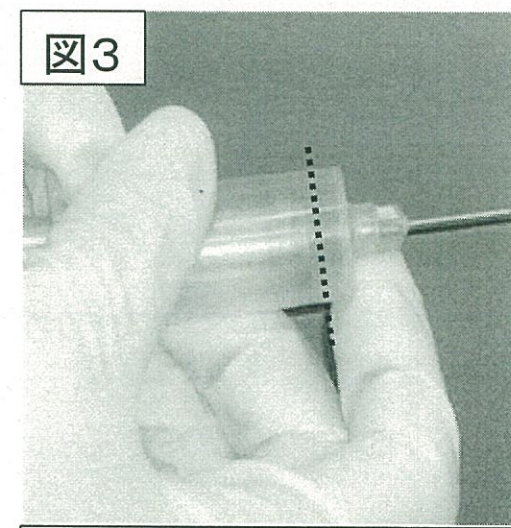
23. 針とホルダーをそのまま鋭利器材専用廃棄容器に捨てる。



BD バキュテイナ™ シングルユースホルダーと
フィルム栓タイプ採血管をご使用のお客様へ
＜使用上の注意＞



ホルダー線



採血管を奥まで強く押し込み過ぎないでください。

フィルム栓タイプ採血管と弊社のホルダーの組み合わせでご使用の際には、採血時は必ず採血管の管底を手で押さえて頂きますようお願いいたします。
※採血管が押し戻され、血液が入ってきません。

採血時に採血管を強い力でホルダーの奥まで押し込みますと、稀に、フィルムの破損(図1)や後方針のゴムスリーブが外れホルダーに血液が漏れるおそれがあります。

採血管を奥まで押し込み過ぎないように、ホルダー線(図2)で採血管先端を固定して(図3)採血して頂きますようお願いいたします。